



イソシギ (シギ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

石ころや砂利の多い水辺を好みます。腰を振りながら水辺を歩き回り、石の間や泥の中を探っては水生昆虫などを採っています。



カワセミ (カワセミ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

背中のブルーと腹のオレンジが鮮やかです。じっと水面を見つめて餌の魚を見つけると頭からダイビングして捕らえます。上流から河口まで結構見ることができます。



キセキレイ (セキレイ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

山間部の渓流沿いを好みますが下流にも姿を見せます。石から石へ飛び移ったり、浅瀬を歩き回ったりして水生昆虫を捕らえます。



ハクセキレイ (セキレイ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

セグロセキレイによく似ていますが、顔が白く、過眼線(カガンセン)と言ってくちばしから目を横切って通る黒い線があるので区別できます。





セグロセキレイ (セキレイ科) 見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

名前のとおり背中が黒いセキレイです。顔も黒く白い襟がくっきり入って目立ちます。河原などで尾を振りながら歩き回り、地面をついばんで水生昆虫を捕らえます。



モズ (モズ科) 見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

秋になるとテレビのアンテナや電線・柵などで尾をぐるぐる回しながら聴いています。この声はモズの高鳴きと呼ばれ、昔から親しまれています。



ホオジロ (ホオジロ科) 見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

体全体が茶色で地味な色合いをしています。頬が白いことから名前が付いています。明るい林や河原、草地の藪などで生活しています。



アオジ (ホオジロ科) 見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

冬に明るい林や市街地の公園、河原の藪などにやって来ます。藪の中で生活することが多く、チっという小さな声が聞かれます。





山や溪流でよく見る鳥



オシドリ (カモ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

冬に魚切ダムにやってきます。美しい姿は昔から絵に書かれたり、オシドリ夫婦とか仲の良い例えにされて親しまれてきました。



ヤマセミ (カワセミ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

魚切ダム付近の上流で見かけます。頭には長い冠羽があり、遠くから見ると白く見えます。警戒心が強く、近づくとケラケラと騒ぎながら飛び去ります。



アオゲラ (キツツキ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

木の幹に止まって両足と尾羽で体を支えて木をつつきます。木の皮をはがし長い舌を差し込んでアリなどを探して餌にします。





八幡川野鳥ガイドブック

コゲラ (キツツキ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

茶色くてスズメ位の大きさの小さなキツツキです。とても身が軽くて細い枝にぶらさがったり、幹や枝を歩き回って餌をさがします。



カワガラス (カワガラス科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

流れの速い浅瀬に潜ったり、歩き回ったりして水生昆虫を捕らえます。危険を感じるとピッピッと鳴きながら川の流れに沿って一直線に飛んで逃げてしまいます。



ルリビタキ (ツグミ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

冬に山地の林に渡ってきますが、雪の多い年には市街地に現れることもあります。ピッピッと尾羽を振りながらよく聴いています。



シロハラ (ツグミ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

冬に山地の林に渡ってきますが、市街地の公園などにも現れることもあります。くちばしで落ち葉をはねのけて、昆虫などの餌をさがします。





八瀬川野鳥ガイドブック

ウグイス (ウグイス科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

ホーホケキョと鳴く声は有名ですが、藪の中に居ることが多く、なかなか姿は見る
ことができません。



キビタキ (ヒタキ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

比較的大きな木が多い、よく茂った林に渡ってきます。軽やかなさえずりと黒と
黄色の鮮やかな色合いが新緑に似合います。



オオルリ (ヒタキ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

谷川沿いのよく茂った林に渡ってきます。見晴らしのよい梢や枯れ枝の先などでゆっ
たりとしたリズムでさえずる姿をよく見ます。



エナガ (エナガ科)

見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

体が小さく尾が長い丸い顔に小さなくちばしのかわいい鳥です。よく群れになって
木の枝先などを活発に動き回って餌を探して移動していきます。





シジュウカラ (シジュウカラ科) 見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

樹の穴などに巣を作りますが、巣箱を利用します。時には郵便受けや、タバコの吸殻入れなどに巣を作った例もあります。



ヤマガラ (シジュウカラ科) 見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

夏は昆虫などを餌にしますが、秋から冬には木の実を餌にします。枝に止まって足指で実を押さえ、くちばしでつついて割ってから食べます。



メジロ (メジロ科) 見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

いわゆる「うぐいす色」の黄緑色で目の周りが白いところから名前が付いています。夏は主に昆虫を餌にしますが、秋から冬にはヤブツバキの蜜をよく食べています。



カケス (カラス科) 見られる時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

茶色い体にごま塗面、翼の青い模様と白い腹が目立つカラフルなカラスの仲間です。ジャーと大きな濁った声で鳴きますが、時々ほかの鳥の鳴きまねをすることもあります。

